

「こどもを預かりたいが保育士が不足している…」

## 保育士への支援強化を



「子育て世代に対する多様な支援を行う。また近隣市町に負けない川棚町にする」と、町長は公約に掲げています。認定こども園や保育所では、こどもを預かりたいが保育士が不足しているとの要望が出されています。辻きよと議員は、町内の認定こども園や保育所を訪ねて実情を聞きまし

た。また波佐見町役場に行き、波佐見町の支援の内容を調べてきました。波佐見町では次の支援策がありました。

- \*就職祝い金 10万円 3年間
- \*潜在保育士復帰支援 10万円
- \*家賃補助 月額上限 3万円 5年間
- \*奨学金返済支援 年間上限 18万円 5年間 など

容を尋ねます。働いている方々の待遇改善も合わせて、検討していただきたい。」と質問しました。

町長答弁  
保育士の支援は、現在本町においては待機児童が発生しておらず町内の保育需要に関しては、充足できている状況である。保育士の確保については全国的に課題となっており、保育士の人材確保対策について来年度以降に取り組み、支援について検討を始めている。他市町の取り組み状況を参考に前向きに検討したい。

# 海沿いに住む町民の生活と環境について

## 大村湾の海洋汚染と「一発肥料」の対策を

閉鎖性海域の大村湾の海洋汚染が進んでいます。現在、田んぼに使用されている肥料に、「一発肥料」というものが使用されています。「一発肥料」というのは、プラスチックの小さなカプセルの玉に肥料が入っている物で、撒くと水に肥料は解けてプラスチックの玉が、田んぼから河川に海へと流れています。これが、マイクロプラスチックになっていきます。出産された母親の胎盤からマイクロプラスチックが検出され、しかもその割合が年々増えていることが解っています。辻きよと議員は「一発肥料」の緊急対策について質問しました。

### 町長答弁

全国農業協同組合連合会などの肥料関係団体では、「2030年にはプラスチックを使用した被服肥料に頼らない農業に」被服殻を海洋流出防止に向けた取り組み方針を公表されている。長崎県央



農業協同組合と共に協議検討を重ねると共に農業者への周

知を引き続き図っていきたい。

## 逆流防止蓋が設置してない平島の側溝について質問

平島の方々から辻きよと議員に「満潮や大雨の際、溝から海水が上がってきて困っている」と相談が寄せられました。辻きよと議員が現場を調べると、溝の出口にゴミ除けの網だけ設置してあり、逆流防止蓋が設置してありません

## 12月議会に出された請願

### 国連総会で採択されたガザ休戦を求める決議についての請願

「川棚町政を考える会」から、「即時、持続的な人道的休戦を求め、国際法を守り安全・福祉・人道的な処遇を求めるもの」の請願が出されました。

辻きよと議員は「テレビや新聞などで報道され子どもたちがたくさん亡くなった。請願は、辻きよと議員と炭谷猛議員の賛成のみで他の議員の反対で不採択となりました。

### 健康保険証の廃止をしないよう求める意見書を政府に送付することを求める請願

東彼民主商工会から「現行の保険証を廃止しないよう求める請願」が出されました。炭谷猛議員は、「高齢者等には紐づけされた健康保険証として利用することは非常に疑問があり、納得できないので健康保険証を廃止しないように求めることに賛成する」、辻きよと議員は、「点検が進んでいない状態で、現行の保険証を紐づけするのは、高齢者の方々や施設での管理が難しいので賛成する」と賛成討論をしました。

請願は、炭谷猛議員と辻きよと議員の賛成でしたが、他の議員の反対で不採択となりました。

でした。「なぜこんな中途半端な工事になったのか」と町長に質問しました。

### 町長答弁

平島地区は、高波対策として新たな防波堤設置の為に工事が県営事業として進められ

ております。防波堤工事に合わせて、逆流防止蓋の設置についても要望を行っており今年度は9か所の逆流防止蓋を設置されることになると。次年度は4か所設置される予定。